

平成30年度事業報告〔概要版〕①

1. 地域振興のための意見・政策提言活動の展開

中小企業の発展や、都市基盤整備の充実に 向けた、各種提言や要望活動を行った

●国への要望

※〔 〕内は要望主体

1. 「福山道路整備に関する要望活動」……〔福山道路整備促進期成同盟会〕【平成30年5月28日】
2. 「福山道路整備に関する要望活動」……〔福山道路整備促進期成同盟会 小丸常議員・喜多村常議員・大山議員〕【平成30年6月6日】
3. 「福山道路整備促進に関する要望」……〔福山道路整備促進期成同盟会〕【平成30年10月23日】
4. 「福山道路整備促進及び
福山港機能強化等に関する要望」……〔福山道路整備促進期成同盟会・浅見常議員・常石造船㈱・ツネイホールディングス㈱〕【平成30年10月30日】
5. 「平成31年度税制改正に関する要望」……〔福山商工会議所〕【平成30年10月30日】
6. 「中四国地方の幹線道路網整備等に関する要望」……〔中四国セントラル地域連携推進協議会〕【平成30年11月27日・12月17日】
7. 「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興と
地域中小・小規模企業の活力強化に関する要望」……〔広島県商工会議所連合会〕【平成30年11月27日・12月17日】



▲小林衆議院議員に要望書を手交
(平成30年6月6日)

●広島県への要望

8. 「福山道路整備に関する要望活動」……〔福山道路整備促進期成同盟会〕【平成30年5月28日】
9. 「福山道路整備に関する要望活動」……〔福山道路整備促進期成同盟会〕【平成30年10月23日】
10. 「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興と
地域中小・小規模企業の活力強化に関する要望」……〔広島県商工会議所連合会〕【平成30年11月19日】
11. 「平成31年度小規模企業対策予算の確保に関する要望」……〔広島県商工会議所連合会〕【平成30年11月19日】
12. 「広島県東部港湾整備に関する要望」……〔福山商工会議所他5者〕【平成30年12月4日】



▲湯崎県知事に提言書を手交
(平成30年10月23日)

●福山市への要望

経済行政懇談会【平成30年11月28日】

福山商工会議所より以下の6項目について行政へ要望・提案を行った。

- ①防災対策（浸水対策の加速化と抜本的強化）について
- ②コンベンション機能の強化について
- ③産・学・官連携による雇用対策の推進について
- ④「ものづくりのまち福山」に相応しい高等教育機関の学科改編について
- ⑤特区を活用した産業施策の推進について
- ⑥行政手続きに係る窓口のワンストップ化について



▲福山市・福山市議会・福山商工会議所による懇談会

主要要望活動内容

福山道路整備・福山港機能強化に関する要望活動

平成29年3月に発足した「福山道路整備促進期成同盟会」の要望活動に、6月には福山通運の小丸社長、備後通運の大山社長、丸加海陸運輸の喜多村会長が陳情に同行。地元業者の生の声を届けた。

また、10月には、JFEスチール西日本製鉄所の浅見副所長、ツネイホールディングスの神原専務が荷主側の立場で福山道路の早期整備を訴えた。

さらに福山港機能強化では、箕沖・箕島地区埠頭再編改良事業の予算確保、クルーズ船誘致に向けた公共岸壁の早期整備等を要望した。



▲石川雄一国土交通省道路局長に要望書を
手交（平成30年6月6日）

〔その他の主な要望先〕

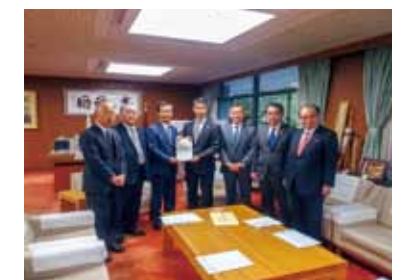
・事務次官 ・国土交通省技官 ・港湾局長
・宮沢参議院議員 ・小林衆議院議員



▲阿達雅志国土交通省政務官に要望書を
手交（平成30年10月30日）

広島県東部港湾（福山港・尾道糸崎港）に関する要望活動

福山・尾道・三原の3市長と3商工会議所会頭により、「地域産業の競争力強化」、「交流・賑わい機能の強化」、「安全・安心対策の充実・強化」、「クルーズ振興施策の推進」、「放置艇対策に伴う係留施設整備」の5項目について、湯崎知事と山木県会議長へ要望を行った。



▲湯崎知事に要望書を手交
(平成30年12月4日)

平成30年度事業報告〔概要版〕②

税制改正要望の結果

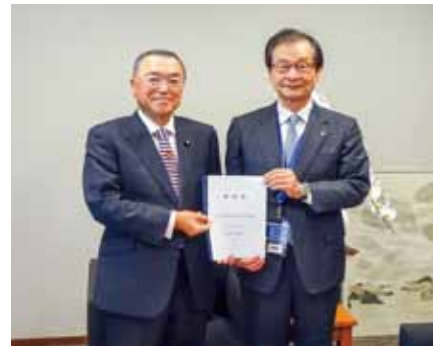
I. 中小企業向け設備投資減税の延長・拡充等

- ・中小企業向け設備投資減税の延長（2年間）・拡充
中小企業経営強化税制→働き方改革に資する設備（休憩室、食堂の整備等）の適用明確化
- ・「中小企業防災・減災投資促進税制」の創設（2年間）
- ・中小企業者等の法人税率の軽減の延長（2年間）

II. 個人事業者の事業承継税制の創設

土地以外の事業用資産も税制の対象に！

- ・個人事業者（青色申告事業者）の贈与・相続に係る納税猶予制度（10年間の時限措置）
- ・対象資産としては、事業用宅地（400㎡）、建物（800㎡）、機械装置、器具備品、車両船舶、構築物等



▲宮沢自民党税制調査会長へ要望書を手交
（平成30年10月30日）

● 備後地域商工会議所会頭会議 【平成31年2月27日】

福山・府中・尾道・三原・竹原・因島・笠岡・井原商工会議所の正副会頭、専務理事が一堂に会する備後地域商工会議所会頭会議を三原市内で開催。独創的かつ市場性のある新事業または創業者を表彰する「備後地域商工会議所新事業表彰事業」を共同事業として実施することになった。



▲備後地域商工会議所会頭会議

● 正副会頭と部会との懇談会

業界の現状、課題や当所への要望等を聴取し、当所事業や要望活動の参考とするため、平成30年度は3部会との懇談会を開催した。懇談会での意見を参考に経済行政懇談会の場で福山市へ要望を行った。



▲卸売商業部会との懇談会
（田村敏治部会長）
平成30年7月3日



▲一般工業部会との懇談会
（高尾悦史部会長）
平成30年8月3日



▲観光・サービス部会との懇談会
（村上正高部会長）
平成30年9月18日

2. 中小・小規模企業の成長と経営力の強化

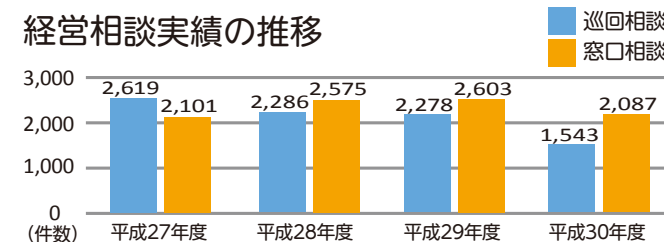
● 経営相談

当所会員の大半を占める小規模事業者に対して、福山地域中小企業支援センターや外部支援機関と連携しながら、金融、税務、記帳、申告指導、労務などの基本的な相談をはじめ、各種助成金・補助金の活用、経営革新・経営計画策定、販路開拓、創業支援など、重層的・複合的な経営相談を実施するとともに、平成30年7月豪雨災害被災事業所の復興支援のためグループを形成し43社の支援を行った。また、消費税率引き上げに向け、軽減税率制度や価格転嫁対策に関する支援を行った。



▲経営相談の様子

経営相談実績の推移



窓口相談件数

対象企業数	経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	その他	合計
937	239	1,154	119	279	244	30	22	2,087

● 経営発達支援計画【第2期計画】（平成30年3月認定）に基づく経営支援

小規模事業者の経営状況分析、経営計画策定、計画実行支援に取り組んだ。

【平成30年度実績】
経営状況分析 214件
経営計画策定 101件

● 販路開拓フォーラム2019&ビジネス交流会の開催 【平成31年2月14日】

経営計画を策定し販路開拓に取り組んだ小規模事業者の事例を紹介し、「商工会議所からの支援の受け方」、「経営計画策定の効果・効用」について、受講者の認識を深めるとともに、新たに「経営計画策定支援」を希望する事業所の掘り起こしを図った。

受講者：32名



▲発表者の紹介をする講師

● 金融支援



マル経融資をはじめとした、日本政策金融公庫の各種融資制度等を斡旋し、中小零細企業の資金需要に積極的に対応した。また自社の経営状況やお金の流れを簡単に把握できる資金繰りの冊子を作成し、財務状況の把握や資金繰り改善を支援した。

◀資金繰り冊子「1番簡単な資金管理の方法」

【平成30年度実績】
マル経融資推薦件数：53件
推薦金額：37,960万円
その他公庫制度融資斡旋件数：9件
斡旋金額：11,710万円

● 創業支援

「創業塾」の開催や個別相談、また、ひろしま産業振興機構の創業サポーター制度などの活用により、ビジネスプランの作成や資金調達、各種届出・手続、税務、労務など創業者に寄り添った支援を行った。

【平成30年度創業件数】 8件



▲創業塾の様子

平成30年度事業報告〔概要版〕③

●災害対応

平成30年7月豪雨災害に対する福山商工会議所の対応

「平成30年7月豪雨災害に関する特別相談窓口」を迅速に設置し、会員事業所の被災状況の把握や、各種支援措置の情報収集に努めた。



※福山河川国道事務所から提供

災害の被害状況と支援策「グループ補助金」に関する意向調査を実施

調査概要◆発送先 当所会員5,273事業所
◆調査期間 平成30年8月27日～9月14日
◆調査方法 調査票を郵送し、FAXで回収

調査結果

◆回答数 126事業所
◆被害状況
・直接被害 114件
(浸水・土砂災害等)
被害額累計 11億5,759万円
・間接被害 24件
(交通網の寸断・断水等)
被害額累計 9,198万円

グループ補助金

被災された中小企業・小規模事業者の皆様に対して、事業継続、再開に向けた支援策の一つ。複数の中小企業等が形成するグループに施設復旧等を支援する補助金

◆グループ補助金の意向(直接被害のあった事業所が対象)

・当所グループで申請したい	66事業所	・検討する	15事業所
・他グループで申請予定	3事業所	・申請の予定はない	27事業所

10月2日 平成30年7月豪雨災害グループ補助金説明会を開催

10月31日 グループ組成を行い「福山商工会議所復興プロジェクト」の名称で、46事業所がグループ認定の申請を行う

復興支援のためグループを形成し、43社の支援を行った(継続中)



●平成30年7月豪雨災害義援金寄附受納式

7月豪雨災害の被害に対する復興の一助として、当所と友好親善および交流増進協約を結んでいる韓国の浦項商工会議所と当所青年部と親交のある水戸商工会議所青年部の義援金と併せて福山市に贈呈した。



▲小川専務理事から中島副市長へ目録を手渡す

人手不足に対する取り組み

●若年者就労支援事業の推進

地元企業の人材確保の一助として、市と連携しながら、県外の大学へ通う大学生に対する市内企業の情報提供「サマーツアー」や関東・関西圏等県外の学生と地元企業との交流会を行った。



▲サマーツアー2018
若手社員の生の声を聞き質問する大学生



▲学生と企業との交流会(東京会場)

●生産性向上に関するセミナー

深刻化する人手不足の解消のため、ITを活用して生産性向上を図るためのセミナーと、業務の流れを把握し、その上で具体的な解決策を検討する生産性向上セミナーを開催した。また時間の見える化で業務改善を図ることを目的に生産性向上研修を開催した。



▲生産性向上のためのIT活用セミナー
(平成30年7月6日・12月10日)



▲生産性向上セミナー
(平成30年8月7日)



▲生産性向上研修
(平成30年12月7日)

●健康経営セミナーの開催

企業が従業員の健康を経営資源と捉え、健康増進を図ることで生産性や企業価値の向上を目指す「健康経営」の普及促進を図るため、アクサ生命と共催で、健康経営セミナーを開催した。



▲健康経営セミナー(平成30年6月5日)

平成30年度事業報告(概要版)④

●広報・調査活動

さまざまな媒体で、当所事業・活動のPRに努めた。

- ・会頭記者会見 ・月刊誌「商工ふくやま」 ・メールマガジン「FCCIライナー」
- ・ホームページ ・Facebook ・エフエムふくやま「ハロー!商工会議所」

●調査事業

- ・福山の経済の実態を把握するため、毎月、市内企業の景況感についてDI方式で調査し、記者会見等で公表した。

- ・調査協力企業数 約160社 ・回答率 90%以上
- ・調査方式 郵送によるアンケート調査

- ・「福山市のモデル賃金」を実施し、結果を冊子にまとめ会員事業所等の便宜に供した。

- ・平成30年8月実施・回答163事業所・郵送によるアンケート方式



▲当所事業を新聞記者にダイレクトに発信

3. 産業の発展と潜在力の強化

●ビジネス交流フェア 【平成31年2月27日】

備後エリアの企業が一堂に集まり、企業間の人材交流や製品・技術交流等を行う中で、新しいビジネスチャンスの拡大を図った。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
参加者数 (事業所数)	216名 (115事業所)	244名 (132事業所)	224名 (127事業所)	198名 (116事業所)	251名 (132事業所)

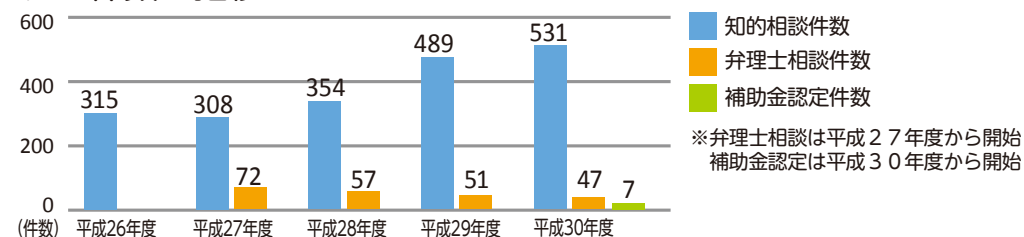


▲過去最多の参加者となった交流フェア

●広島県中小企業知財支援センター福山サテライト

知的財産に精通したアドバイザーが常駐し、特許技術の商品化や既存技術の応用について、指導・相談等を行い技術開発や事業化支援を行った。さらに、知的財産権取得支援制度を創設し、中小企業が行う知的財産権の取得事業に対し、その経費の一部を補助することで、ものづくり技術の向上および競争力と経営基盤の強化を図った。

相談件数の推移



▲弁理士相談の様子

中心市街地の賑わい創出と回遊性の向上

●福山駅前等歩道空間活用社会実験 OPEN STREET FUKUYAMA 2018

福山駅前を中心とした公共歩道空間で賑わい創出・回遊性向上を目的に、「ミチ」をきっかけにした楽しい「マチ」づくりの社会実験を実施した。

【vol.2 平成30年6月8日～10日 / vol.3 平成30年10月19日～21日】



▲パンやコーヒーなどの飲食や
雑貨販売が行われた歩道空間



▲お酒が飲み、食べ物のデリバリーを
楽しめるパブリックバル

●ふくやま手しごと自慢市 【平成30年10月27日・28日】

●福山おさんぽウォーク 【平成30年10月27日】

出店者が趣味を活かし自ら作った自慢の逸品を一堂に展示販売する「ふくやま手しごと自慢市」や、中心市街地をウォーキングしながら回遊し、街とお店を広く市民に知ってもらうことを目的とした「福山おさんぽウォーク」等を同時に開催した。

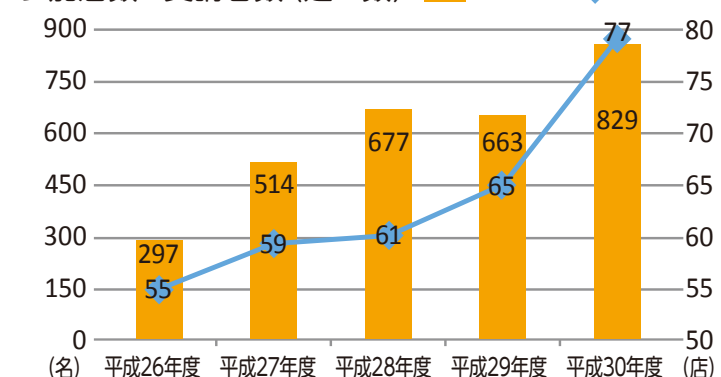


▲福山おさんぽウォークでスタンプ
を待つ大勢の参加者

●まちゼミ 【第10回 平成30年9月22日～10月31日 / 第11回 平成31年2月23日～3月31日】

商店街の店主が講師となり、専門店ならではの知識や情報、コツをお客さまに無料で伝授。

参加店数と受講者数(延べ数)



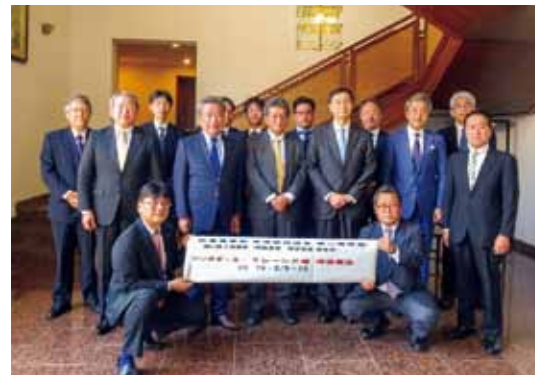
▲まちゼミの様子

活力ある都市基盤の整備

●シンガポール・マレーシア港湾視察会

【平成31年2月9日～13日】

幹線道路・港湾整備特別委員会（委員長：大山茂生）では、広島県東部港湾振興協会福山港部会と共催で、「シンガポール・マレーシア港湾視察会」を開催し、シンガポール日本大使公邸での山本大使との面談や、福山市からシンガポール国内に進出している企業訪問や港湾視察のほか、広島銀行主催の広友会に参加して、福山港の物流機能や国際コンテナ定期航路など福山港利用促進等についてPRを行った。



▲シンガポール日本大使公邸で山本純特命全権大使を囲んで

●鹿児島県志布志港視察会

【平成30年11月9日～11日】

木材・伝統産業部会（部会長：小畑智嗣）と広島県東部港湾振興協会松永港部会は、松永港の整備促進の参考とするため、先進港湾視察として、原木輸出量が日本一を占める鹿児島県志布志港を訪問しインフラ整備状況等を視察した。



▲志布志港を視察

国際経済交流の推進と中小企業の海外ビジネス支援

●国際ビジネス研究会インドネシア視察会

【平成30年11月10日～14日】

ASEAN最大の人口と国土を持つインドネシア視察会を実施し、ジェットロ・ジャカルタ事務所をはじめ、タンジュンプリオク港や現地企業（製造業）の視察、現地経済事情の調査やビジネスチャンスの発掘を行った。



▲タンジュンプリオク港コンテナターミナルPCT1にて

人材育成

●日商簿記検定試験の団体受験化に関する要望と受験対策講座の実施

企業が求める資格第1位である日商簿記検定試験の団体受験化について、福山市立大学に要望するとともに、年間を通じて「日商簿記検定試験2・3級受験対策講座」を開講し、企業や学生等の人材育成と近年減少傾向にあった簿記検定試験の普及・拡大に努めた。

簿記検定の受験者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受験者数	1,672人	1,616人	1,442人	1,444人

●セミナー開催

従業員教育として、新入社員セミナー、コミュニケーション向上セミナー、営業社員強化研修、女性管理者研修など幅広いテーマで実施し、従業員の資質向上に努めた。



▲福山市立大学の田丸学長へ要望書を手交



▲毎年好評の新入社員セミナー

●福山市グローバル人材育成事業推進協議会の参画

産・学・官が一体となって、海外留学と地元企業のインターンシップを組み合わせたプログラムを実施するために設置された協議会に参画し、「地域の活性化に貢献し、地域に密着するグローバル人材の育成」に努めた。



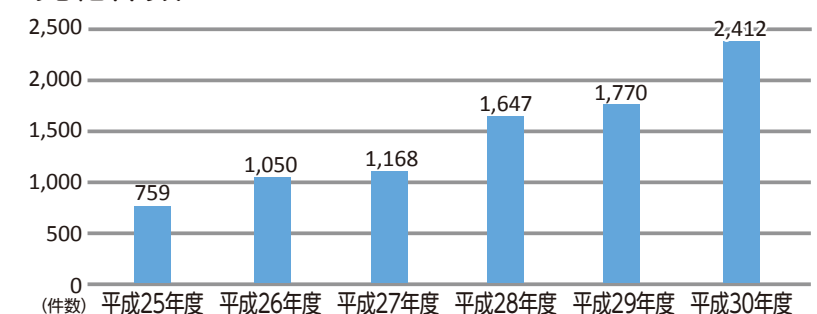
▲留学した学生が成果を報告

●地域企業の海外取引等支援

非特惠原産地証明・サイン証明・インボイス証明の発給及び日本商工会議所福山事務所として、EPA（経済連携協定）に基づく特定原産地証明書などの貿易関係証明の発給を通して、地域企業の海外取引等の支援を行った。ここ数年、貿易関係証明の発給件数は増加している。

貿易関係証明【非特惠原産地証明・サイン証明・インボイス証明】
発給件数の推移

発給件数



4. 地域資源を活用した都市力の向上

地域資源（「ばら」、「ぶどう」）を活用した地域活性化の取り組み

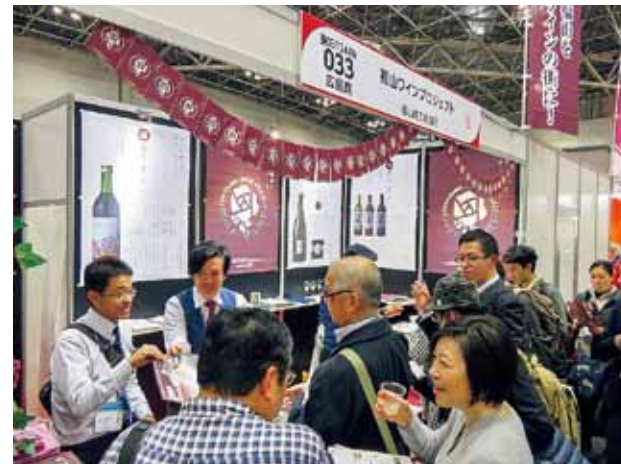
地域資源である「ばら」や「ぶどう」に着目し、当所が平成27年度から2年に渡って取り組んだ「ばらの酵母菌で瀬戸内・福山の六次産業を醸すプロジェクト」の成果を継承しながら、ワインを核とした地域活性化をめざし、産・学・官・民で構成する「備後福山ワイン振興協議会」を平成30年5月1日に設立した。

その中で、「福山をワインの街に!」をキャッチフレーズに、

- ・ばらの酵母菌を活用した赤ワイン「Sanzo no Aka」等の販路開拓
- ・「備後ワインクラブ事業」の実施
- ・備後福山産ワインの認知度向上、消費拡大に向けたワインフェスティバルの開催等などの取り組みを推進した。



▲福山をワインの街に!



▲商工会議所共同展示商談会「feel NIPPON 春2019」に出展

地域文化と賑わいイベント

●鞆の浦 de ART 【平成30年9月30日～10月21日】

【平成27年度全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞】で最高賞に次ぐ「振興賞」を受賞した取り組み

広域からの旅行者を誘致し、瀬戸内海の国際的な文化交流拠点としての地位を確立することを目的に鞆の浦を会場に現代アート作品を展示するイベントを開催した。



▲史跡や寺院などにアート作品を展示

女性会と青年部の活動

●女性会

昭和43年6月14日「福商婦人会」として発足した女性会が創立50周年を迎え、福山商工会議所創立記念日の11月1日に記念事業を開催した。

また、創立50周年記念事業の一環として、地域のため、業界のために地道な活動を積み重ねてきた女性を表彰する「ふくやま『輝く女性』大賞」を実施した。

「ふくやま『輝く女性』大賞」受賞者

- | | | |
|-------|----------|-------------------|
| ・最優秀賞 | 栗田慶子さん | コミュニティハウスumbrella |
| ・優秀賞 | 木村真弓さん | 備後ばらバラよさこい踊り隊 |
| ・奨励賞 | 金井奈穂さん | (株)アシスター |
| | 岡山容子さん | (株)ホーミダイニング |
| | 羽田富美江さん | (有)親和 鞆の浦・さくらホーム |
| ・特別賞 | 岡崎瑞穂さん | (株)オーザック |
| | ゾウのふくちゃん | 福山市立動物園 |



▲創立50周年記念式典



▲表彰事業の受賞者

●青年部

広島県商工会議所青年部連合会の創立20周年にあたり、福山YEGが主管となり記念会員大会を福山で開催した。

また、自ら考えて行動する子供起業体験プログラム「ジュニアエコノミーカレッジ2018」や福山城築城400年記念プレ事業に位置付けられた「福山城あかりまつり」等を実施した。

・ジュニアエコノミーカレッジ

【平成30年7月～12月の間の6日】

市内8校65名による13チームが参加



▲ジュニアエコノミーカレッジの実践販売

・広島県商工会議所青年部連合会 創立20周年記念会員大会

【平成30年11月17日】



▲山田県連会長の挨拶

・福山城あかりまつり

【平成30年12月23日～平成31年1月6日】



▲幻想的に彩られた福山城あかりまつり

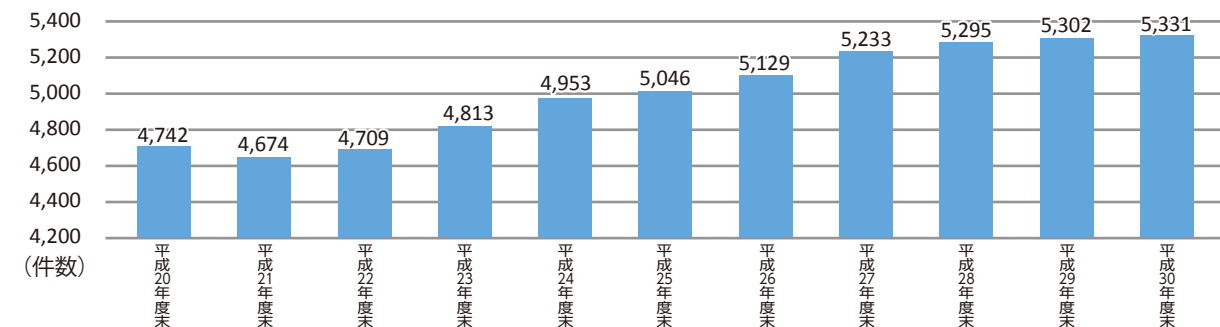
平成30年度事業報告〔概要版〕⑦

5. 当所組織運営基盤の強化と会員サービスの充実

会員数は9年連続の増加

会員数は、議員と職員が一体となって会員増強運動を積極的に展開した結果、平成31年3月末現在で5,331件となり、平成22年度から9年連続で増加し、過去最高数となった。

会員数の推移



共済制度の推進

●共済フォーラムの実施

今年度の新事業として「共済フォーラム」を開催した。本年4月1日より大幅改正となった事業承継税制を受けての「事業承継対策」や「自社株対策」など、会員事業所が必要とするテーマでのセミナーを開催し、併せて活用できる共済、福祉制度を紹介することにより、会員サービスと共済加入者の増加に努めた。

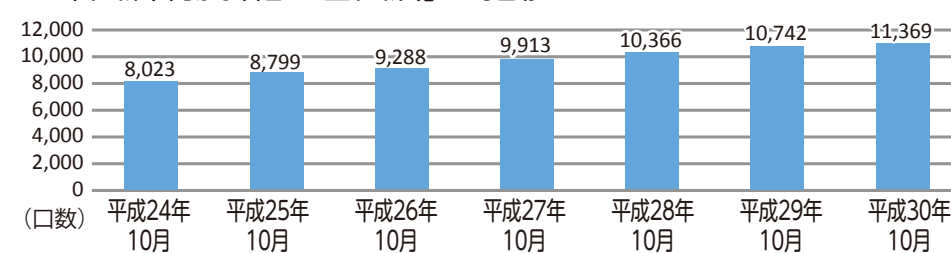


▲共済フォーラム

●生命共済「福の山共済」の推進

引受会社であるアクサ生命保険㈱と、当所職員による会員事業所への訪問活動や、キャンペーンの実施により、加入事業所の増加に繋がった。

生命共済制度「福の山共済」の推移



会員サービス事業の実施

●創業永年会員・優良従業員表彰事業 [平成31年2月17日]

社会経済の変遷の中、永年にわたるご精進とご努力に敬意と感謝を表す表彰式を挙行了た。創業永年会員166社・優良従業員658名を表彰。



▲表彰式をエストパルクで開催



▲林会頭から表彰状を受け取る受賞者

●会員ビジネス交流会「手みやげ&弁当発掘会」の開催 [平成30年12月5日]

今年度第6回目となる会員交流会の新たな取組みとして、贈る相手に喜ばれる「手みやげ」や、社内会議・研修・イベントなどの「弁当」を会員事業所より一堂に集め、来場者が自由に見て・触れて・食べながらビジネスで活用できる新しい商品を発掘してもらう商談形式の交流会を開催した。計26社が自慢の逸品を出展し、その他の会員事業所107社から約300名が来場され、活気あふれる交流会となった。



▲約300名の来場者で会場内は大賑わい



▲各社ブースでPR